

～あなたの生活をもっと良くするために～ リハビリテーション理学療法部門装具チーム

現在、日本の死因第3位として脳卒中が挙げられています。脳卒中の患者様は150万人と言われ、毎年25万人以上が新たに発症していると推測されています。その中で動きのサポートの1つとして装具を使用することがあります。装具を使用することで動きを安定させることや、身体の機能改善を助けることが出来ます。ここでは、理学療法士と装具の関わりについて話していきます。

●装具って何？

装具とは、四肢・体幹の外部から支えることにより、機能障害の軽減を目的としたものです。イメージしやすいものと言えば、コルセットや膝のサポーターなどがあります。

その中で当院の装具チームでは主に下肢装具の選定を行っています。



●装具チームの取り組み

当院では昨年度からリハビリテーション理学療法部門で装具チームを稼働しました。主な活動としては入院患者様が装具を作る際に、その人に合った適切な装具を作成するために話し合い、アドバイスを行っています。装具を作る義肢装具士との連携しながら患者様の生活場面、身体にあった装具の作成を目指しています。

下肢装具の適応患者様として脳卒中で麻痺がある人や頸髄損傷などで神経症状がある人に対して処方することが多いです。下肢装具の種類もたくさんあり、長下肢装具や短下肢装具などその方の機能に合わせて適切な装具を選定されます。

●最後に

患者様の中には脳卒中等の発症により生活が閉塞的になり、いつの間にか出来る事にも諦めることが増えているかもしれません。しかし装具を使用することでできなくなった歩行や立ち仕事を再び出来るようになることは多々あります。

私たちは患者様と一緒に装具を通して生活をよりよくできたらと思っています。装具のことで悩んでいることがあったら、声をかけて下さい。

この記事を読んで装具への興味、関心が少しでも湧いて頂けたら幸いです。

IMSグループからのお知らせ 医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。

来訪もしくは、お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問合せください。

0800-800-1632 03-3989-1141(代表)

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。

受付時間/平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30(日祝・年末年始休み)

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-21-11 オーク池袋ビルディング 8F

【受付時間】

平日：8:00~12:00(診療開始9:00より)
12:30~16:30(診療開始14:00より)
土曜：8:00~12:00(診療開始9:00より)
休診：日曜・祝日

【24時間救急応需】

救急の場合は24時間体制で随時対応いたします。
来院する前に必ずお電話でご確認ください。

あさひだより

発行/横浜旭中央総合病院 広報委員会
〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台 4-20-1
IMSグループ 医療法人社団 明芳会
横浜旭中央総合病院
TEL: 045-921-6111
FAX: 045-922-2720
<http://www.ims-yokohama-asahi.jp/>

硬膜下血腫とは…

硬膜下血腫とは、硬膜と脳表のくも膜の間にある硬膜下腔に血液が溜まった状態です。頭部に強い衝撃を受けると、脳表と硬膜をつなぐ血管、架橋静脈と呼ばれる血管が衝撃で引っ張られ、裂ける場合があります。この架橋静脈から出血し、硬膜とくも膜の間に血液が溜まった状態が硬膜下血腫と呼ばれます。



脳神経外科
手島 啓幾

原因・症状

急性硬膜下血腫と慢性硬膜下血腫では、症状自体が異なる場合が多いです。

急性硬膜下血腫

受傷直後から非常に強い頭痛が出現し、数時間以内に意識混濁状態、場合によっては命に関わる状態に陥ることがあります。

慢性硬膜下血腫

受傷後数週間から数か月たってから徐々に下肢の脱力や、認知症症状、呂律(ろれつ)障害など様々な症状が出現します。

急性硬膜下血腫の治療法

急性硬膜下血腫は血腫が半固形状態のため小さな穴で吸い取ることが出来ず、ある程度大きな開頭手術となります。を呈するような急性硬膜下血腫の場合、基本的に全身麻酔下で開頭手術を実施します。

慢性硬膜下血腫の治療

症状があるような慢性硬膜下血腫は、基本的に局所麻酔下で頭部に小さな穴を開けて手術を実施します。頭皮を切開後、頭蓋骨に1円玉程度の大きさの穴を開けます。穴の下にある硬膜を切開すると液体状の血腫が内部の圧力のため噴出してきます。これを吸い取り、内部を洗浄した後、ドレイン・チューブを挿入し、頭皮を縫合して手術を終了します。片側だけの場合は通常、30分~1時間程度で終了します。

慢性硬膜下血腫の場合、10人に1人は再発するため、手術後も定期的な検査が必要になります。

※ただし、両者ともに症状と脳への圧迫の程度により、手術を実施せず自然に血腫が吸収されるのを待つ場合もあります。手術の合併症は、脳損傷、大量出血、感染症等が挙げられます。

当院ではX線撮影やCTスキャン、MRIなどの最新の医療機器を使用し、硬膜下血腫などの脳神経外科疾患の鑑別、診断を行っております。気になる症状がございましたらどうぞお気軽に当院脳神経外科をご受診ください。



脳梗塞について

脳神経内科
保坂 宗右



①脳梗塞を防ぐ

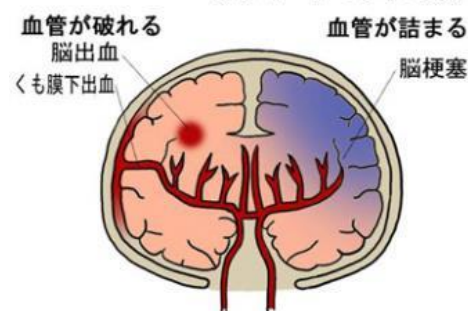
脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）の患者数は現在約150万人といわれ、毎年50万人以上が新たに発症していると推測されています。脳卒中は、がん、心臓病に次いで日本における死因の第3位となっています。また「寝たきりになる原因」の3割近くが脳卒中などの脳血管疾患です。今後、日本は高齢者の激増や、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の増加により、脳卒中の患者数は2020年には300万人を超すことが予想されています。

この脳卒中のなかで、脳出血は近年減少してきましたが、食生活の欧米化などに伴う動脈硬化や代謝異常の増加により脳梗塞の患者数は増加してきています。

このため、何より重要なことは、脳梗塞にならないように予防することです。下記の点に注意し健康な生活を遅れるようにしましょう。

1. 塩辛い食品は控え、味噌汁もうす味にする。
また、麺類のスープは全部飲まないようにする。
2. 間食や偏食を避け、栄養バランスのとれた食事をする。
牛肉や豚肉などは控え、魚や野菜を多く食べる。
3. 禁煙を実行しアルコールを控える。
(日本酒なら1日1合、ビールなら中ビン1本まで)
4. 十分な水分(1日に1000mlぐらい)は十分にとる。
(利尿作用がある紅茶・コーヒーはとり過ぎないようにする)
5. 規則正しい排便を心掛ける。
6. 熱い風呂に長く入るのは避ける。(適温は40℃程度)
7. 毎日軽い運動をする。
(1回30分～1時間の運動を、毎日または1日おきに)
8. 十分な休養と睡眠をとる。

図① 脳卒中の種類



脳出血やくも膜下出血は、血管が破れて出血する病気。出血した血液が圧迫することで、脳細胞がダメージを受ける。一方、脳梗塞は、血管が詰まり、その先に、栄養や酸素が送られなくなり、脳の細胞が壊死する病気。

②脳梗塞の前ぶれとは

脳梗塞を発症する前には、一時的に、手足の脱力やしびれなどの症状が出現することが良くあります。大半は、数分で症状は消えてしまいますが、このような症状は、脳梗塞の「前ぶれ」が考えられますので、すぐに医療機関に受診してください。

主な前ぶれ症状

1. 手足に力が入らない
「はしがもてない」、「コップを落としてしまう」など、手に持っていたものを落としてしまいます。
2. 足がもつれる
まひが起こるために、「フラフラしてしまい歩きにくい」などの症状がでます。
3. 片方の手足がしびれる
体の片側に、「感覚が鈍い」、「しびれ」などの症状がでます。
4. 視力障害
「ものが二つに見える」「見えにくい」などの症状が現れます。
5. 言葉が話せない
話したいが、言葉が出てこなかったり、人が言っていることが理解できなかったりします。また、言葉は出てくるが、ろれつが回らずに上手に話せないことがあります。
6. 物が飲み込めない
食べ物や飲み物がうまく飲み込めずにむせてしまうことがあります。

これらの前ぶれ症状は、すべて起こるわけではありません。障害を受けた脳の部分に応じて、いずれかの症状が起きてきます。疑われる症状が1つでも起きたときには、迷わずにお近くの医療機関に受診をして診察を受けてください。

特に、「高血圧、糖尿病、高脂血症、心臓病」などをお持ちの方は、脳梗塞を引き起こしやすいため、前ぶれ症状に特に注意することが大切です。

～ご案内～

栄養関連商品売店にて販売開始！！

当院売店（入って右側のお菓子コーナー部分）において、栄養関連商品販売しております。

各種とろみ剤、栄養状態改善のための補助飲料、リハビリをしている方向けの栄養強化商品、今注目されているビフィズス菌 B5336 商品など取り揃えております。

ぜひお立ち寄りください！



～動脈硬化予防レシピ～

青魚の不飽和脂肪酸は動脈硬化予防に効果的！カラフルな野菜を魚ととることで見た目も Good！

魚のラビコットソース

(材料) 1人分

- ・青魚(3枚おろし) 60g
- ・塩 0.6g
- ・こしょう 少々
- ・玉ねぎ 10g
- ・黄パプリカ 15g
- ・きゅうり 10g
- ・トマト(湯むきしたもの) 50g

【A】・にんにくチューブ 1g

- ・レモン汁 小さじ1
- ・オリーブ油 小さじ1
- ・タバスコ 少々
- ・こしょう 少々



【作り方】

- ①魚は表面に塩、こしょうをふって、10分ほどおく。玉ねぎ、黄パプリカ、きゅうりは5mm角に切る。
- ②トマトは種を取り除き、5mm角に切る。ポウルにAを合わせ、トマト、きゅうり、玉ねぎ、黄パプリカを加えてさらに混ぜ合わせる。
- ③フッ素加工フライパンで①のあじの皮面から焼き、両面に焼き色がつくまで焼く。器に②を敷き、魚を盛り、さらに上から②をかける。

【1人分栄養価】エネルギー：122 kcal 蛋白質：13.2g 脂質：5.2g 炭水化物：5.5g 塩分：0.5g 食物繊維：1.1g

人間ドックについて★

当院では脳梗塞や脳出血、くも膜下出血を主とする脳卒中を「発症してから治療」ではなく『発症を防ぐための予防』を目的とした、脳ドックを行っています。

健康維持の為に、ぜひご受診してみたいかがでしょうか。

標準コース¥43,200(税込) 基本コース¥27,000(税込)

頭部MRI・MRA検査により脳梗塞や脳出血などの発見が出来ます。標準コースは頸動脈エコー、採血などから動脈硬化による危険因子もお調べします。

お問合せ先：人間ドック 045-923-1159(直通)

